

Renewable Energy Business

www.mmc.co.jp

持続可能な社会の実現に向けた事業展開

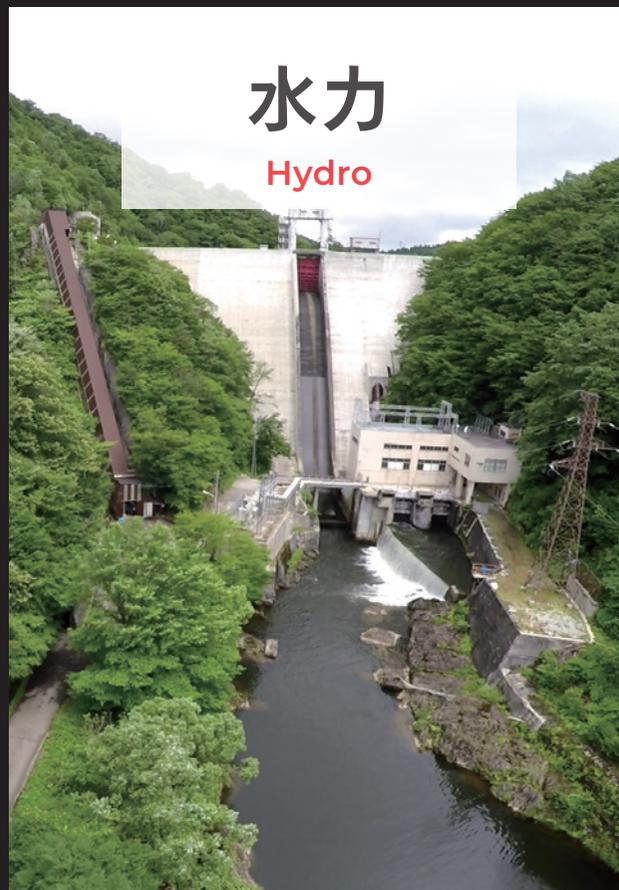
地熱

Geothermal



水力

Hydro



太陽光

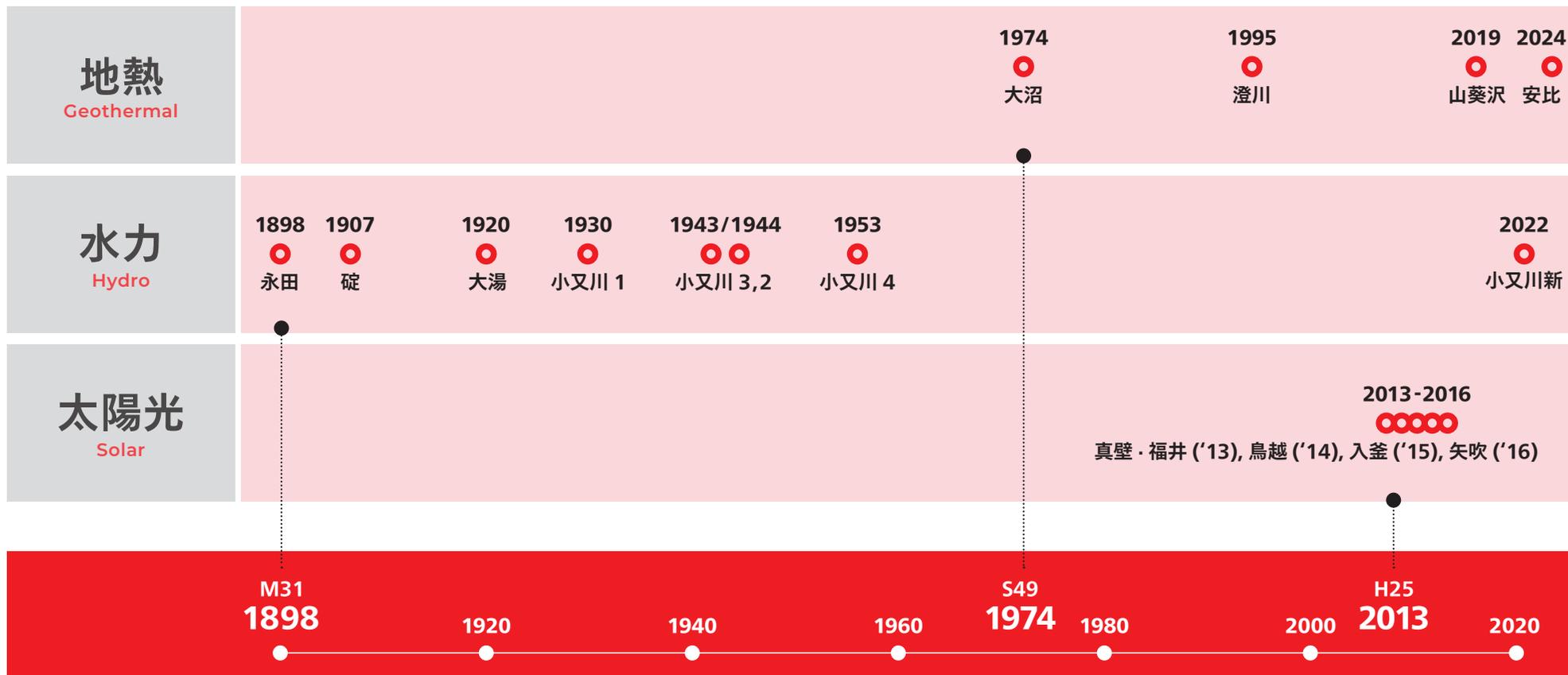
Solar



地球の限られた資源を大切に使うこと、そしてよりクリーンなエネルギーでサステナブルな社会を構築することは、人類共通の大きな課題です。

三菱マテリアルは、この課題の解決に向けて、再生可能エネルギー事業のさらなる発展を目指しています。

鉱山開発をルーツとする120年以上の歴史ある事業



1871～三菱マテリアル創業

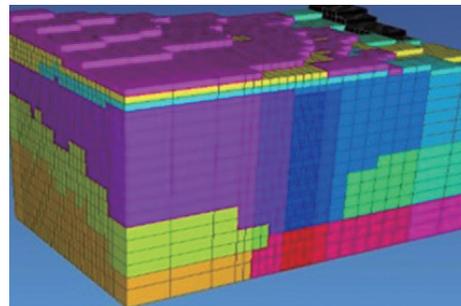
当社のルーツは鉱山開発であり、地下の探査に強みを持つ会社です。

このノウハウを活かし、当社の地熱発電事業は、1974年の大沼地熱発電所の運転開始に始まりました。

事業開発から操業に至るまでの一貫した技術力



地表調査(重力)



地熱貯留層評価



配管等プラント設計



大沼地熱発電所操業等

地表調査
掘削

評価

建設

操業

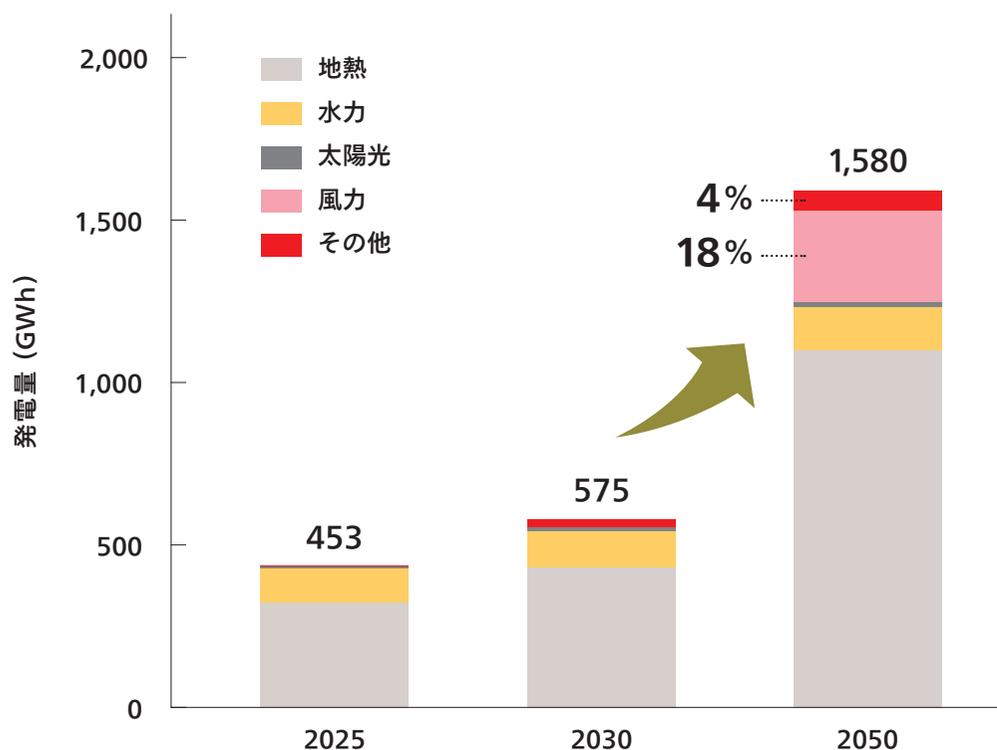
三菱マテリアルグループ

当社グループでは、調査・開発・操業といった各ステージの事業を展開していますので、一貫した見通しを立てながら地熱事業を遂行することができます。

自社電力に匹敵する 再生可能エネルギーを創出

2050年度の当社消費電力に匹敵する持分発電電力量の開発を目指して、
地熱発電の事業拡大を加速し、さらに風力を中心に新規再エネ発電事業を展開したいと考えます。

■ 当社再エネ発電量の推移



(参考)
中期経営戦略 2030
21ページより



鉱山時代から培った地下の 探査能力

三菱マテリアルは、地球の恵みである地熱や水力などの純国産で再生可能なエネルギーの開発や事業運営を通じて、常に地球とエネルギーの関係を考えてまいりました。近年、地球温暖化等の社会課題がクローズアップされ、ますますその重要性が再認識されています。地熱資源の探査から発電設備の建設・操業まで、50年におよぶ地熱開発実績に基づき、安定した再生可能エネルギーの開発、発電事業を行っています。これからもこの貴重な再生可能エネルギーを十二分に活用し地域の皆様方との共存共栄を目指して行く所存です。



〈事業パートナー〉

湯沢地熱(株)：電源開発(株)、三菱ガス化学(株)
安比地熱(株)：三菱ガス化学(株)、電源開発(株)



澄川地熱発電所

認可出力：50,000kW
発電：東北電力(株)
蒸気供給：三菱マテリアル(株)
三菱ガス化学(株)



120年以上に亘る 着実な操業実績

当社の水力発電事業の歴史は 1898 年からと古く、秋田県において、尾去沢鉱山※の動力用電力の供給等を目的として 2021 年までに 7 つの水力発電所を建設してきました。

2022 年には秋田県で 69 年ぶりとなる小又川新発電所が稼働し、現在は秋田県鹿角市に 3 か所、北秋田市に 2 か所の計 5 か所の水力発電所を有しています。

※ 金鉱山として開山、後に銅鉱山として操業し、1978 年に閉山

鹿角系水力発電所
(永田、碓、大湯)

小又川水力発電所
(小又川第4、小又川新)



小又川新発電所
認可出力：10,326kW



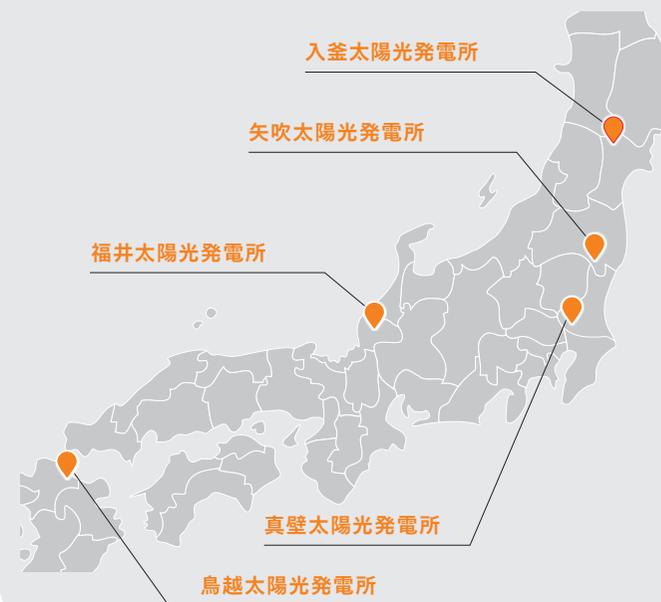
永田発電所
認可出力：721kW



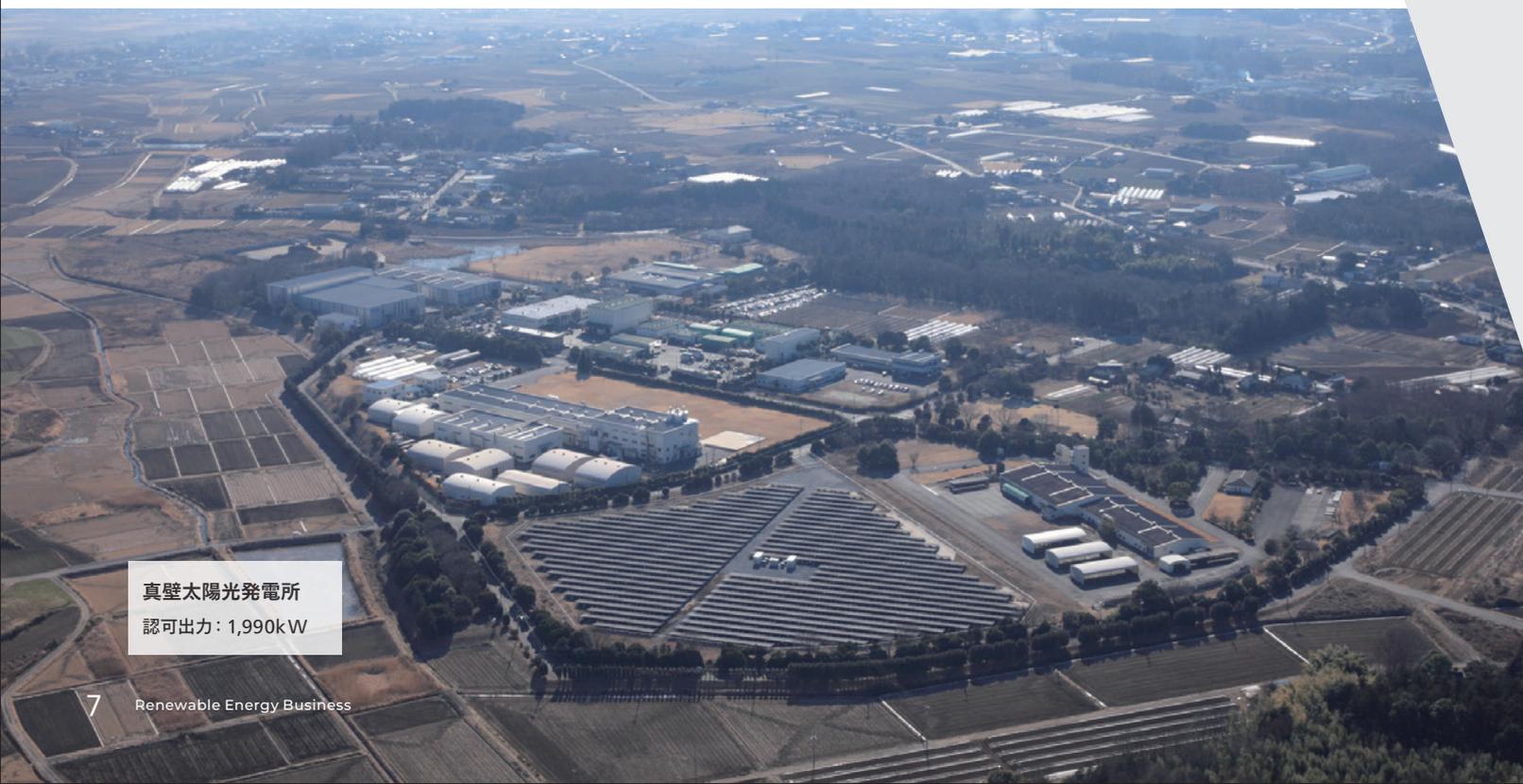
碓発電所
認可出力：1,873kW

自社遊休地の活用 地熱水力に加えた新たな一歩

2013年より、当社グループの遊休地を活用して、新たに太陽光発電事業に着手し、三菱HCキャピタル(株)との合併事業としてエルエムサンパワー(株)を設立、2017年までに真壁(茨城県)、福井(福井県)、鳥越(福岡県)、入釜(宮城県)、矢吹(福島県)の5カ所で発電所を建設し、順調に運転を継続しています。



事業主体：エルエムサンパワー(株)
事業パートナー：三菱HCキャピタル(株)



真壁太陽光発電所
認可出力：1,990kW



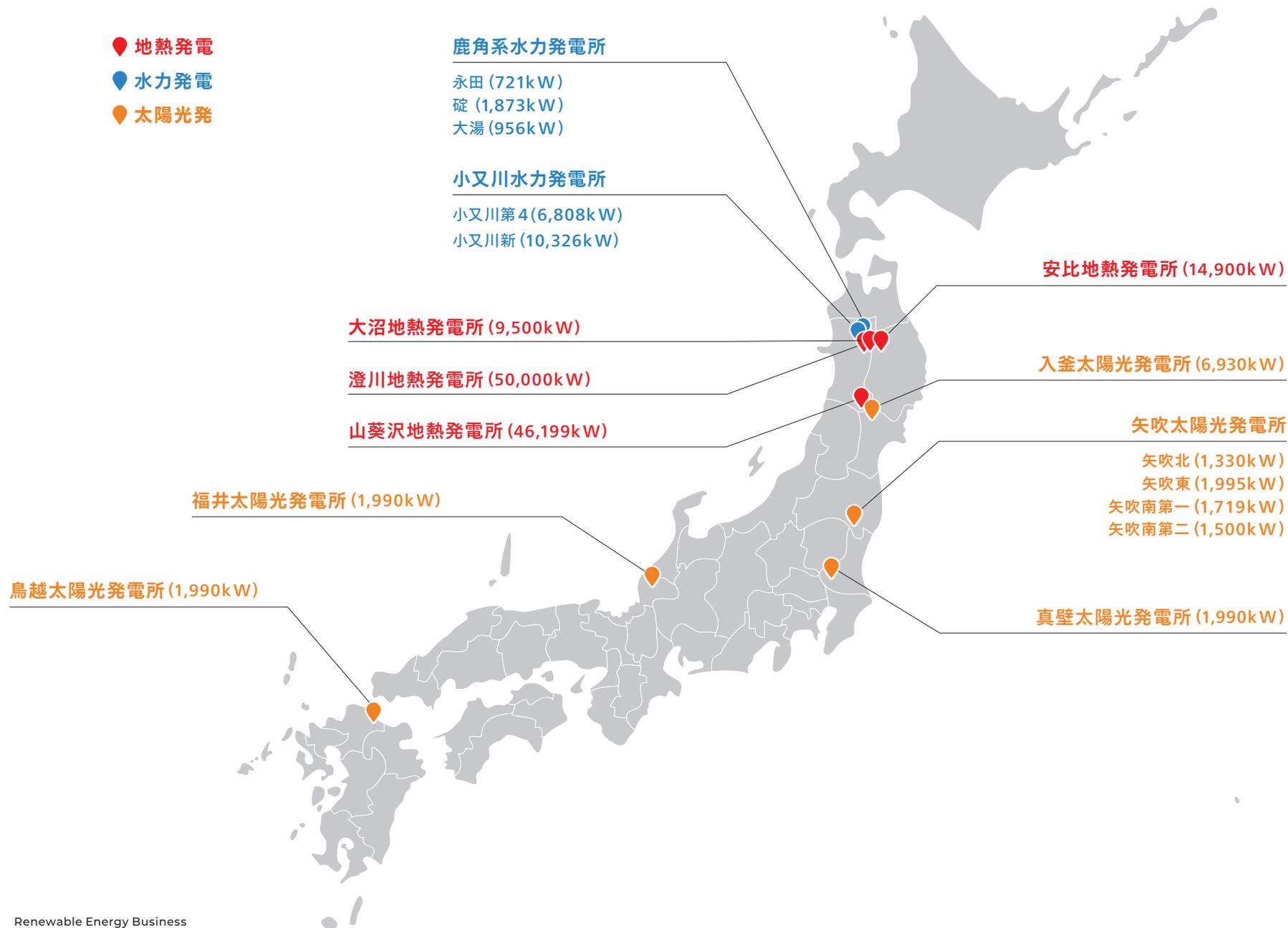
入釜太陽光発電所
認可出力：6,930kW

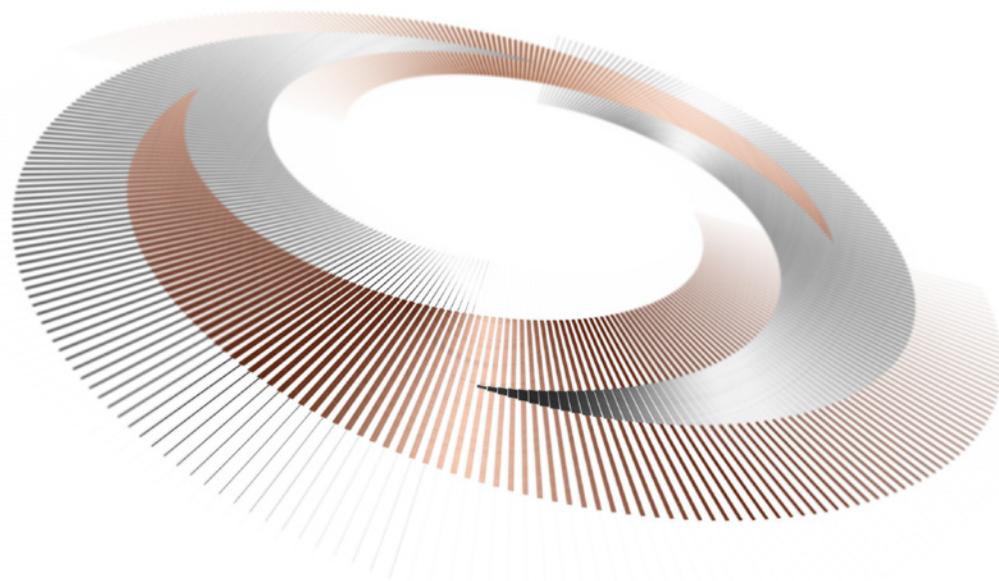


鳥越太陽光発電所
認可出力：1,990kW

現在の展開拠点

- 📍 地熱発電
- 📍 水力発電
- 📍 太陽光発電





人と社会と地球のために、循環をデザインし、持続可能な社会を実現する



三菱マテリアル株式会社
コーポレートサイト